

Microsoft 365 相談センターよくある FAQ

Q. 「OneDrive for Business」を 1 ライセンス契約し、社内の「部門共有用」として利用はできますか？

A. いいえ、「OneDrive for Business」にはサポートされる利用目的が「個人作業用のファイルのデータ保存」と定められているため、「部門共有用」としての利用は、「利用目的以外」の利用方法のため「ライセンス違反」になります。

「部門共有用」を目的として利用する場合、「組織/部門レベル」での共有を前提とした「SharePoint Online」を利用してください。

その他にも次のような「OneDrive for Business」利用ケースは「ライセンス違反」となります。

●「ライセンス違反」となる「OneDrive for Business」の利用ケース

- (1) 「部門/組織レベル」での共有（社内の共有クラウドストレージとしての利用）
- (2) 「システムのバックアップ」としての利用
- (3) 「複数ユーザーで共有している NAS」との同期利用
- (4) 人ではない「ボット」や「部門アカウント」として利用
- (5) 1 ユーザーライセンス/ユーザーアカウントを複数の利用者（人）で利用（ライセンス/ユーザーアカウントの「使い回し」の利用）

*「OneDrive for Business」のサポートされる利用目的に関しては以下の公開情報をご確認ください。

◆OneDrive for Business サポートされる使用目的

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/office365/servicedescriptions/onedrive-for-business-service-description#supported-uses>

「システムバックアップ」や「部門および組織レベルのデータを含む個人の個人作業ファイル以外のデータの保存」はサポートされていません。

ボット、部署、またはその他の非人間エンティティへのユーザーごとのライセンスの割り当てもサポートされていません。

Azure 相談センターよくある FAQ

Q. 仮想マシンのディスクとして使用するマネージド ディスクのデータ保持の料金は、ディスク上に保存されている実際のデータサイズと作成時に選択したディスクサイズ、どちらに基づいて課金されますか？

A. マネージド ディスクはプロビジョニングされたサイズ、すなわちディスク作成時に選択したサイズに基づいて課金されます。

詳細は下記公開情報をご確認ください。

[Azure マネージド ディスクの種類 - 課金]

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/virtual-machines/disks-types#billing>

--- 抜粋 ---

マネージド ディスクのサイズ: マネージド ディスクは、それらのプロビジョニング済みサイズに従って課金されます。